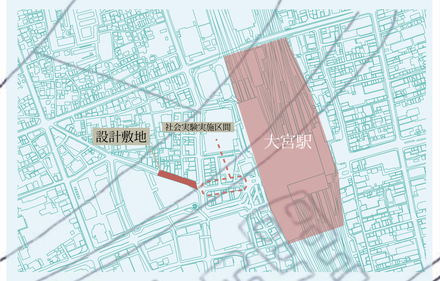
ケモノミチオオミヤ

車の通行や流れを最も効率化した
アスファルトの道路から、
植物や人にフォーカスした
植物で覆われたミチに変わった時、
人の振る舞いや車の轍、犬の足跡が
都市のまんなかでケモノミチをつくる。

それは不特定多数の人、動物、植物の
ワガママのプロットであり
大宮という都市の
本来的ではあるが、今まで無かった
豊かな景色を作り出す。

敷地　歩行者シンボル軸（大宮停車場大成線）



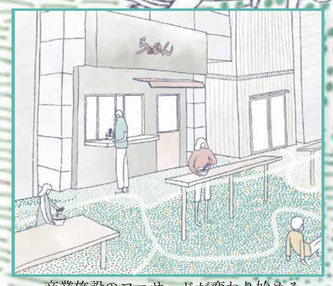
みどりと滞留空間が不足している西口の大宮停車場大成線の
再整備検討区間の少し先で、鐘塚公園も一体に含めた提案をする。
周辺の飲食店、オフィスなどの利用者が気軽に立ち寄れる
公園のような滞留空間をデザインし周辺のテナントの価値を向上させる。

数十年後、
沿道の建築は道路と連続したり、
大きな開口部ができたり
大宮の風景をもっと豊かにし、
ウォーカブルな都市空間になります

アスファルトを剥がし、グランドカバーで道路空間を覆う

2022

2025



商業施設のファサードが変わり始める

2027

2030

鐘塚公園とミチの境界が溶け、
相互補完の関係になる

2050

推進戦略の柱

②まちの滞在性

色々な活動の受け皿となる．
公園のようなミチを提案する．

①まちの中での回遊性

歩行者シンボル軸として、
歩きたくなるみどりあふれる
ミチの空間を形成する．

参照：大宮駅西口第三地区まちづくり NEWS

西口第三地区のまちづくり方針

西口第三地区のまちづくり方針に基づき
子ども も大人などマルチユーザーも快適に利用することがで
き、被災時には避難所となる、安心・安全な空間をつくる．

にぎわいのある、安心、安全なまち

- 街の奥行さがあり、人が集い、にぎわうとともに、安心・安全で快適な都心居住を実現できる街
- 安全で快適に移動でき、大宮駅や駅前周辺と連携した、街歩きを楽しめるまち
- 空間緑地や沿道緑化により、みどり豊かな、個性的で魅力ある、人が集い、憩い、楽しめる街

参照：大宮駅西口第三地区まちづくり NEWS

空間緑化

ミチを緑化することで周辺の空間にも緑化
を波及させ、緑のネットワークをつくる

参照：大宮駅西口第三地区まちづくり方針

人と植物の関係性

アスファルトから、グランドカバー（匍匐性植物）
へと変えることで人と自然のワガママのための
キャンバスになる．

人が歩いたところにミチができる．
人通りが多いところはくっきりと、
人があまり歩かないところはうっすらと．
人がしばらく歩かなかったところには花が咲く．

やがて人と植物はミチの上で平衡状態になり、
その時々の人のライフスタイルや流行が
プロットされ、大宮らしさが可視化される．

居場所をつくる草

草の高さによってゆっくりできる場所、
通過導線、寝転べそうな場所など、
さまざまな空間を作り出す

時間による車との住み分け

8:00-24:00
⇨ 歩行者のための空間
24:00-8:00
⇨ 車の通過空間
車のための空間と歩行者のための空間を
一日のなかで時間で分割する．
車が通った跡は日中は歩行者の動線に変わる．

ヒートアイランド抑制

植物の地中の水分を吸って蒸発させる．
蒸散作用により周辺の温度上昇を抑制する．

ミチのベースとなる素材

人が多く通っても大丈夫かつ給水性と排水性に優れた
ヤシガラマットや保水セラミックパネルを選定する．

グランドカバーの種類 (一部抜粋)

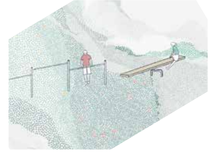
花の咲く時期や色、特性を考慮しプランニングを行う．

プラティア　リシマキア　イオノプシジウム　クラピア　クリーピングタイム

変化する公共物

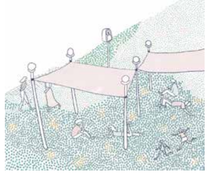
日中はほ歩行者と滞留者のためのファニチャーとして

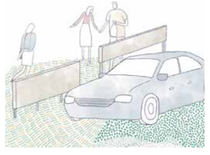
ガードレール × テーブル



ガードレール × 遊具

横断歩道 × ベンチ



街灯 × タープ

夜は車から歩行者を守る交通インフラとして